

死亡災害事例

飛来・落下 ②

事故の型

飛来・落下

業種

土木工事業

被災者

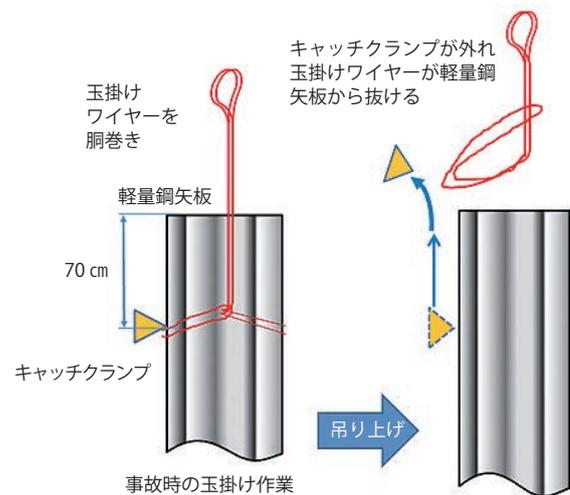
溶接工(70代)

経験年数

30年以上35年未満

発生状況

共同溝補強のためシートパイルを敷設する工事において、軽量鋼矢板圧入と鋼矢板頭部の補強溶接作業を行っていた。軽量鋼矢板をワイヤーロープと単管用キャッチクランプを用いて、ホイールクレーンにて吊り上げ作業を行っていたところ、該当ワイヤーロープから軽量鋼矢板が外れ、下方で作業していた被災者の頭部を直撃した。
(平成27年5月)



原因と対策

(原因)

- ・職長の判断で作業手順書の吊り孔を使用した吊り方法でなく、玉掛けワイヤーを胴巻きし、滑り止めとしてキャッチクランプを使用していた。
- ・吊り荷の下に人が立ち入らない措置が不十分であった。

(対策)

- ・職長と作業者は、作業手順書の施工方法を厳守すること。
- ・吊り荷の下に人が立ち入らないよう、監視員を配置すること。